

女川第二小学校の始業式・入学式に出席（五十嵐）

被災地である女川の児童生徒に必要な学用品（ユニセフバッグにセット）や上靴、体育着、学校へは消耗品や備品の提供を行いました。4月12日の始業式・入学式で贈呈しました。「女川のみなさんには今まで長い間、ユニセフ募金に取り組んでいただき、世界の子どもたちをたくさん支援していただきました。今度はユニセフが全力をあげて女川のみなさんを応援します。津波は尊い命と大切なものを奪い去りました。しかし、助け合う気持ちとがんばる力まで奪うことはできませんでした。これからもユニセフはみなさんのために一生懸命がんばります。」



南三陸町の防災対策庁舎が鉄骨の骨組みだけを残した ©日本ユニセフ協会/2011/K.shindo

（公財）日本ユニセフ協会のパネル作成に先がけて宮城で4月上旬の段階で作成しました。早い時期の展示にご利用ください。



宮城県庁でパネル展 5月6日まで

例年宮城県と共同で開催している「子どもの権利を守るパネル展」で『東日本大震災～みんなの力を笑顔に変えて』を展示中です。被災地の状況とユニセフの支援活動を写真パネルに作成しました。5月6日（金）15時まで。ぜひごらんください。（土日祝日休館）展示終了後は各地に貸し出しを行います。A2サイズで全30枚。無料です。

4月18日、日本ユニセフ協会

東郷良尚副会長が被災地を慰問しました

ユニセフ「子どもにやさしい空間」を開設している石巻市立釜小学校を慰問し、直に被災者の声に耳を傾け、これから続けていく「子どもの心のケア」活動の必要性を感じとりました。この日の夕方、みやぎ生協の齋藤昭子理事長を訪問し、支援物資の配送や学校再開に向けての学用品の調達配送など、みやぎ生協のきめ細かな協力に対して感謝のことばが述べられました。齋藤理事長からも、ユニセフによる日本への支援が速やかに行われたこと、パートナーとして生協が協力できたことなど、感謝の気持ちが伝えられました。

アグネス・チャンさんも宮城を訪問

4月12日から15日にかけて石巻、女川、南三陸、気仙沼、山元などの避難所を訪問し、子どもや女性に下着や絵本などを届け交流されたそうです。最終日に県庁で記者会見されたことが新聞に載りましたね。



東郷副会長と齋藤理事長（右）

小野寺さんが通常勤務に戻りました。ボランティアさんとの連絡などさせていただきます。新しいグッズカタログは5月中旬からの発送になります。ご注文はぜひ事務局へお願いします。5月中旬にはウィズ内で机の配置替えがあります。



宮城県ユニセフ協会 〒981-3194 仙台市泉区八乙女4-2-2

Tel 022-218-5358 Fax 022-218-5945 E-mail sn.municef-miyagi@todock.jp

新しい情報はホームページが便利です <http://www.unicef-miyagi.gr.jp>

事務所：月曜日～金曜日

10：00～17：30

上記以外 090-7339-5068（五十嵐）